



育成だより

第16号

平成13年3月31日

貝塚中学校区
青少年育成委員会

三校合同演奏会

社会の急速な変化に伴ない、青少年を取り巻く環境も大きく変化しつつあります。青少年育成委員会は子ども達が安心して、通学や日常生活が送れる地域の環境づくりを進めております。

その一環として地域内の各小中学校、PTA の協力により学区内一斉点検パトロールを七月と十二月に行なっています。

地域内の危険箇所の点検及び有害なビデオ・図書の自販機の撤去、有害図書の販売については、各コンビニに陳列場所の配慮をお願いしました。また、見通しの良い

明るい公園づくり、粗大ゴミの不法投棄防止等、地域の実情を多くの方々の目で確かめ、見つけ出し、各関係機関のご協力を頂きながら、子ども達にとつて安全な環境づくりを図ってまいりました。その結果、学区内には有害自販機は一台もありませんでした。

これからも青少年育成委員会はより良い環境づくりをめざして取り組んでまいりますので、地域の皆様のご理解と一層のご支援を賜り青少年の健全育成を進めたいと思います。



貝塚中学校区
青少年育成委員会会長

関塚 昭男

地域と共に より良い環境づくりを!

あれから一年

貝塚中学校区
青少年育成委員会
常任相談役 田中 信夫

り上げた素晴らしい伝統の賜物で
あると感謝申し上げます。

平成十二年度青少年育成委員会
定期総会において、十六年間務め
て参りました会長職を辞し、常任
相談役となりました。

会長として在職中は「明るく安
全な通学路の確立」を目指して、
青少年育成事業に取り組んで参り
ました。このことにつきまして、
多くの地域の方々、青少年育成委
員の皆様のご理解とご協力を頂い
たことに、改めて、心よりお礼申
し上げます。

また、当学区において、大きな
問題となることもなかつたことは
小中学校の歴代の校長先生を始め
教職員の皆様、PTAの皆様が作
り上げました。

貝塚中学校区
青少年育成委員会 副会長 小塚 興作

本年度より、関塚会長を中心と
した新体制で青少年育成活動を行
っておりますが、学区内一斉点
検パトロール、書初展、レクリ
エーション等、活動内容により一
層の充実が図られております。

今後の青少年育成委員会のます
ますの活躍を期するとともに、地
域の皆様のご支援をお願い申し上
げます。

青少年育成事業に取り組んで参り
ました。このことにつきまして、
多くの地域の方々、青少年育成委
員の皆様のご理解とご協力を頂い
たことに、改めて、心よりお礼申
し上げます。

貝塚中学校区
青少年育成委員会 副会長 千脇 和夫

実行委員長として感謝の気持ちを
と思つても言葉に出せず、日々あり
がとうとしか言えませんでした。
これからも地域ぐるみで応援し、
協力していきたいと思います。

レクリエーション部会が行つたペタ
ンク大会や健全育成部会が行つた書
初め展という行事が今後、更に拡大
していくことを期待しております。

また、貝塚中学校区の特徴を把え
た貝塚中学校区ならではという行事
を育成委員会として計画していくた
めと思つております。
今後共、地域の皆様のご協力をお
願い申し上げます。

ビュードな形でスムーズに進
行しました。

特に今回、貝塚中、北貝塚小そし
て桜木小三校の生徒子ども達によ
る素晴らしい合同演奏がありまし
た。合同練習は一、二回しかできな
かったそうですが、それを乗り越
えたのは、日頃指導されている先
生方の熱意が子ども達に良く浸透
している証でもあります。結果とし
て聴く者の胸を熱くさせ大きな感動
を与えてくれました。

それと共に、育成委員会として
は、青少年が大人と共に活動できる
行事を計画・運営することも大切な
ことであると思います。青少年が家
族以外の大人の人達や、自分の住ん
でいる地域の他人達と共に一時を
過ごすことで、地域の連携が一層深
まり、健全育成の一助となると思わ
れます。

青少年の健全育成に向けては、地
域の皆様や学校と協力しながらよ
り良い地域環境づくりを図らなければ
なりません。

体験学習は子どもたちを大きく育む



貝塚中学校
校長
大森 俊郎

今日、少年非行のその数は大きく増加し、加えて低年齢化傾向が進みつつあります。また、内容も強盗や恐喝など凶悪・粗暴

化しております。厳しい状況となつております。

このような状況の中、本校においては、常に危機意識を持ち生徒指導の充実と心の教育に取り組んできました。

特に、体験を通じて主体的に課題を発見し、解決するという経験が必要であることから、福祉体験・育児体験・成田、佐原、佐倉市での歴史体験等の体験学習を積極的に実施しています。

安全な通学路を目指して



北貝塚小学校
校長
山口 正弘

の設置についての要望が出され、設置されました。更にスクールゾーンの道路表示も行われ、最大限の対策が施されました。

二つ目は、原陸橋の歩道の安全確保という課題でした。原陸橋の歩道には片側にしかガードレール

北貝塚小学校では、児童の交通安全に関して大きな課題が二つありました。

一つ目は、若葉大橋開通に伴い学校前の交通量の増加が懸念され、横断歩道における安全確保という課題でした。これにはPTAを中心として、信号機やガードレール

がなく、原町や西都賀に住んでいた児童にとっては危険を感じることがありました。しかし、左右両側

北貝塚小学校では、児童の交通安全に関して大きな課題が二つありました。

一つ目は、若葉大橋開通に伴い学校前の交通量の増加が懸念され、横断歩道における安全確保という課題でした。これにはPTAを中心として、信号機やガードレール

がなく、原町や西都賀に住んでいた児童にとっては危険を感じることがありました。しかし、左右両側

心の交流



桜木小学校
校長
深山 寛

実施後の報告書を見ても、子どもたちは体験から様々な事を学びその喜びが述べられており、教室で学ぶ以上の成果を上げております。

平成十四年度から完全学校週休五日制が始まります。青少年育成委員会を中心に、子どもたちの余暇活動の場として、様々な社会体験、自然体験ができる環境づくりに取り組んでいただき、地域ぐるみの健全育成をよ

り推進できることを願つておるところです。

次代を担う青少年の健全育成は社会全体の責務であります。二十一世紀を担う青少年を育むために地域・家庭・学校の連携を推進して参りたいと思いますので今後ともご協力方よろしくお願い申し上げます。



るようになります。

子ども社会では、もめごとは大人が解決し、あるいは起こらないように仕向け、自分にとって都合のよい人間とだけ関わりをもつようにしている場面も多くあります。このように「身をもつて学ぶ」経験や場面に応じて自主的・主体的に判断する機会等が少なくなっているようですね。

現代の生活は「もの」も「情報」も簡単に手に入る時代、便利な反面、努力をしたり苦労をしたりする経験が少なくなっています。子どもに限らず「ものを考える」習慣も少なくない、また人と接する(心の交流)機会も少なくなつてきていて

レクリエーション部会

堀 柳太郎

「パラダイス」を散策するだけの時
間しか取れませんでした。
来年は、子ども達が参加しやすい
イベントを考えていきますので
ご協力を願っています。

十月二十九日に予定していたペ
タンク大会が雨のため、十二月三
日(日)に延期になりました。当日
は十九名の参加者が、鉄製のボーリ
ルをビュットという目標の玉に向
けて投げ、チームで対戦しました。
最初は小学一年生の女の子で、
最年少は中盤からはボールを投げる
ことに積極的になってきました。
優勝は夫婦で参加された有山さん
チームでした。

また、今年度の研修旅行には、四
十八名の方々に参加していただく
ことができました。しかし、旅行の
日が二月十一日(日)という連休の
中日であり、方面も南房総という
こともあり、大渋滞にあってしま
い、バスの中での時間が九時間超
すということになってしまいま
した。「たてやまいこいの村」で昼
食を午後二時とり、その後「南房



交通安全対策部会

古田島 成元

交通ルールを守り、自分自身を守
りましょう。

環境対策部会

川口 正之

青少年をとりまく環境整備の一環
として、有害図書や広告物の除去、地
域の問題として公園内の見通しの悪さ、
青少年の溜り場傾向、放置自転車や駐車車両等を考えて行きたい
と思います。また、ひつたくりや痴漢出没についても緊急な対応策が必要とされます。

平成十三年一月現在、交通死亡事
故数は千葉県がワーストワンになり
ました。交通事故を少しでも減らす
よう心掛けたいものです。
小中学生の皆さんには特に登校時
に余裕をもって家を出て欲しいと思
います。朝のあわただしい時は歩く人
も車を運転する人も周りを余裕を
もつて見ることができません。飛び出
しによる事故を防ぐために、ゆっくり
歩いても登校時刻五分前に学校に着
くようにしましょう。

健全育成部会

鷹野 誠

今年度は貝塚中学校、桜木小学
校、北貝塚小学校の三校は「地域ぐ
るみ教育推進校」指定二年目にな
ります。

この活動の一環として十一月十
八日貝塚中学校の体育館で開催さ
れました貝塚音楽祭に参加協力し、
音楽を通して地域の皆様と交流を

登校の様子を見ますと、子ども達
は、おおむね交通ルールを守っています。
大人の人達も交通ルールを守り、
子どもの手本となるようにして欲し
いと思います。

現在の問題として公園内の見通し
の悪さ、青少年の溜り場傾向、放置自
転車や駐車車両等を考えて行きたい
と思います。また、ひつたくりや痴漢
出没についても緊急な対応策が必要と
されます。

今後はこれらの実状をふまえ、効
果的な委員会活動を行っていきたい
と思います。

地域巡回等を基本活動としています。
夏冬二回の学区内パトロールを実施
し、電柱等の有害ビルはなくなりま
した。

図ることが出来ました。

一月には地域三校の児童、生徒の書き初め五百四十六点を都賀コミュニティセンターと桜木公民館に展示し、多くの方にご覧になつて頂きました。

福祉部会

野村 啓二

夏休み及び冬休みを学校と各地域の民生委員と協力し、左記の活動を実施しました。

・夏休み

三名ずつ二班に分かれて各町内会盆踊りの見廻りと要保護世帯夏期慰問金配布のときに生徒の健康を気遣い、生活の様子を観察しました。

・冬休み

各地域の民生委員の方々に機会あるたびに母子家庭・父子家庭の児童生徒、また一人暮らしの高齢者の方々に励ましの声をかけるようお願いしました。



非行対策部会

安藤 登

本年も夏休みと冬休みの年二回J.R都賀駅周辺のパトロールを二班に分かれて実施いたしました。特にパチンコ店やゲームセンター公園等を見回りました。夕方六時頃でしたが子ども達の姿は見受けられませんでした。

七月二十二日から八月十九日まで「夏まつりや盆踊り」の会場を、桜木地域と北貝塚地域とに分かれ夜七時からパトロールを実施いたしました。

しま

特に大きな問題はなかつたのですが、会場の入口や周りで道路に座っている子ども達が多く見受けられ、その場で声はかけましたが、各家庭での指導もお願いしたいと思ひます。

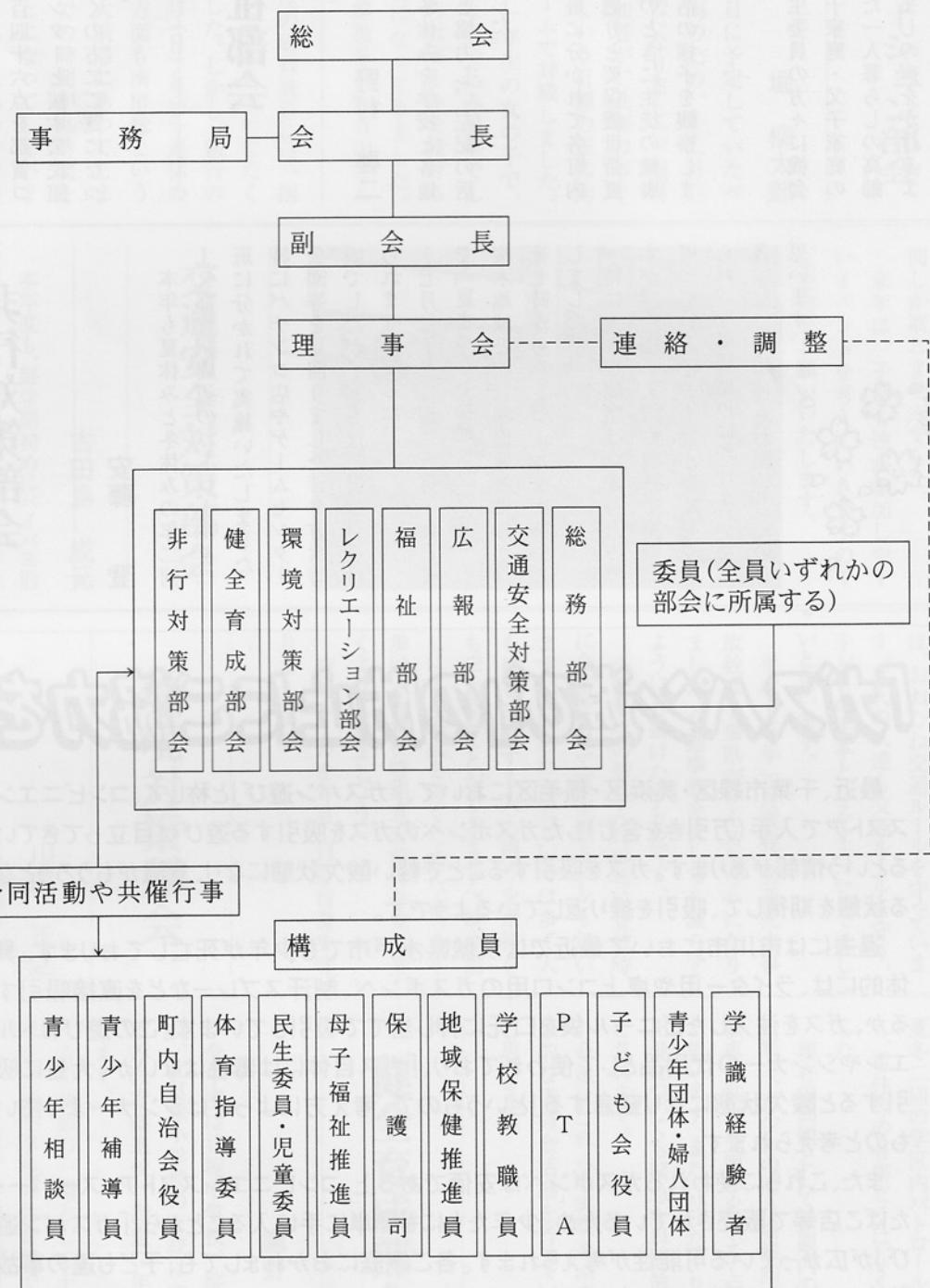
「ガスパン遊び」の防止にご協力を

最近、千葉市緑区・美浜区・稲毛区において、「ガスパン遊び」と称して、コンビニエンストアで入手(万引きを含む)したガスボンベのガスを吸引する遊びが目立ってきているという情報があります。ガスを吸引することで軽い酸欠状態になり、意識がもうろうとなる状態を期待して、吸引を繰り返しているようです。

過去には市川市において最近では茨城県水戸市でも少年が死亡しております。具体的には、ライター用や卓上コンロ用のガスボンベ、制汗スプレーなどを直接吸引するか、ガスを注入したビニール袋を口元に押し当てて吸引しています。この遊びはトルエンやシンナーの代用品として使われており、「ガス自体には毒性はないが、大量に吸引すると酸欠状態になり窒息する」というもので、考え方によってはシンナーより怖いものと考えられます。

また、これらに使われるガスボンベは安価である上、コンビニエンストア・スーパー・たばこ店等で販売されているため、少年たちにも簡単に手に入ることから、「ガスパン遊び」が広がっている可能性が考えられます。各ご家庭におかれましても、子ども達の事故防止にご協力をお願い致します。

貝塚中学校区青少年育成委員会関係組織図





インストラクターの説明を真剣に聞きます。

当日は天候にも恵まれプラネットリウム、カヌー体験等、順調にプログラムを消化できました。二日目は野外炊飯を行つたのですが、学年に関係なく自分の役割り（食材係、飯ごう係等）をしつかりと果たし、おいしそうなカレーライスが出来上がりました。そして、大自然の中でも食べた味は、また格別

サマーキャンプ 小見川少年自然の家

千葉市青少年相談員
戸村 直人

青少年相談員だより

『雄大な自然の中で寝食を共にし、学区の子ども達の友情を深め、野外での集団生活を充分味わう事により青少年の健全育成を図る』という開催趣旨を基に、七月二十七日、二十八日の二日間、小見川自然の家で主に小學生を中心にキャンプを実施致しました。



思うように進まないよ～！
最後に育成委員会、ならびに小中学校、地域関係者の皆様のご協力ご支援、誠にありがとうございました。



だつた様です。

短い日程でしたが、子ども達も新しい友達ができたり、修学旅行とは違った団体生活を体験できましたと思思います。そしてこのキャンプが子ども達にとって今後何かの役に立つ事ができたら幸いです。

平成12年度 標語コンクール参加作品(佳作)

千葉市教育委員会・千葉市青少年連絡協議会 主催

未来へと 飛び立つばさが 君の背に
信じよう 輝く未来と 自分の道を

貝塚 中 三年	貝塚 中 三年	海寶 智明
---------	---------	-------

第二回 書初展

昨年につづいて本年も第二回目の書初展を実施しました。

期日は一月十七日から二月四日まででした。

会場は、都賀コミュニティセンターロビーと、桜木公民館でした。

作品は、小中学校五百四十六点でした。数が多いので、桜木公民館は二回にわけて展示しました。

たくさんの方々に見ていただき感謝を、お寄せいただきました。

○子ども達の力強い字を見て感動しました。

○作品を見て、自分の子どもの頃を思い出し、なつかしく思いました。

○たくさんのお子様の参加が、すばらしいと思いました。

○一年に一度でも筆を持って、字を書くことの大切さを感じました。

○子どもたちが筆を持つて一生懸命取り組んだ姿が目に浮かび、心があたたまりました。

○一生懸命書いた作品を見て、子どもたちも次への励みにして欲しいと思いました。

○毛筆の書き初めは作品が大きいので、会場作りが大変ですね。

でもやっぱりお正月らしい気分になりますね。また来年を期待します。

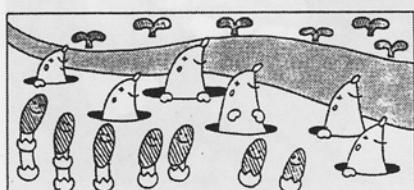


編集後記

育成だよりも号を重ねて十六号となりました。今回は各小学校の校長先生にも原稿を寄せていただきました。また、例年のように各部会の活動状況の報告も載せてみました。

私共、育成委員会の活動を地域の皆様に理解していただけるよう、広報部員十名が何度も集まり、夜遅くまで原稿とにらめっこしながら編集いたしました。

是非、地域の皆様にご一読いただきたいと存じます。



貝塚中学校では五年前から、「花いっぱい運動」を行っています。バドミントン部と花のボランティアの生徒を中心に、種から苗を育て、区役所や公民館、交番などに置かせてもらっています。

花を育てる活動とともに、少しでも心が育つようにと思っています。一人でも多くの生徒たちが活動に参加してもらえるようにしていきたいと思っています。この活動を、地域の活動へと広げられるようにご協力ください。



花いっぱい運動